

県図書館協会 会長あいさつ

鹿児島県図書館協会会長の東條でございます。令和7年度が始まり、皆様も新年度を清々しい気持ちで迎えられたのではないのでしょうか。

さて、昨年度、県図書館協会では、県立図書館や県教育委員会の協力もいただきながら公立図書館(室)長及び業務担当者会、親子読書研修会や読書の魅力を伝える活動推進研修会、県図書館大会等を県内各会場で開催することができました。特に、公立図書館(室)長及び業務担当者会(会場：錦江町)と読書の魅力を伝える活動推進研修会(会場：鹿児島市、西之表市)におきましては、大隅支部、鹿児島支部、熊毛支部の皆様の御理解と御協力によって、参加者同士が直接交流できるような場を御提供いただきました。おかげさまで、県内の公立図書館(室)に勤務する職員の交流が図られ、図書館間のネットワークをより確かなものにすることができました。これからの図書館協会の活動においても、この互いのつながりを意識し、活用し、更に広げていくことができるよう、事務局としても努めてまいります。

会員各図書館(室)におかれましても、互いに情報を共有しながら、利用者の「知る喜び・学ぶ楽しみ」に供するとともに、地域や住民の方々の課題解決支援の核としての役割を果たすべく、更なる図書館活動の充実を図っていただければと存じます。

今年度も県民の皆様の図書館利用がより活発なものになりますよう、県図書館協会の活動への御理解と御協力をお願いいたします。